

図書館の便利な使い方

part2 図書館にはどんな資料があるの?



みなさんは図書館に本（図書）以外に、どんな資料があるか知っていますか？

雑誌や新聞はもちろん、DVDやCDなどの「視聴覚資料」、清瀬市や近隣地域ごとに収集した「郷土資料」、辞書・事典類などのレファレンスツールもあります。また、各図書館に設置してある「インターネットきよせ」ではインターネットに接続して調べることができます。

では、どの様な時にどの様な資料やツールを使うと便利なのでしょうか？

①東日本大震災について調べたい → 図書、新聞の縮刷版など

②あさのあつこさんの新刊が出たのかな？ → インターネットきよせ
OPAC（検索機）など

③宿題で清瀬の特産品について調べたい！ → 郷土資料
※郷土博物館での資料閲覧など
(資料の貸出・予約はできません)



読みたい本を探している時は、OPAC（検索機）を使ってみましょう。本が探せない時、どんな資料を使えばよいかわからない時は、

カウンターの職員におたずねください。調べ物のお手伝いをします。ティーンズコーナーには、大学・学校案内を所蔵していますので、進路や将来について考えている人、留学を予定している人は、ぜひ情報収集してみてくださいね。

Teens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト

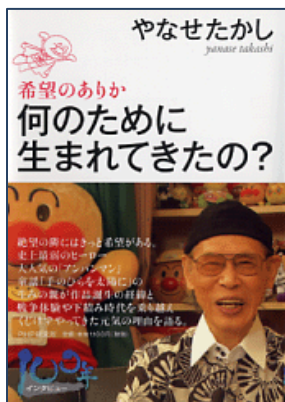


No.16 2014.1

清瀬市立図書館

何のために 生まれてきたの？

やなせ たかし／著
PHP研究所



逆転しない正義とは、ひもじい人を助けること。飢えている人に一切れのパンをあげること。昨年、惜しまれつつ亡くなられた、やなせたかしさんの信念から生まれたのが、みなさんがよく知っている「アンパンマン」のお話です。

この本のタイトルは、テレビ『それいけ！アンパンマン』のテーマソングの一節ですね。やなせさんによれば、人生は「運・鈍・根」。絶望せず、あきらめず、ちゃんと食べて、とにかく一歩踏み出すこと。

もし、道に迷ったな、と思った時は、「アンパンマン」を思い出して、この本を手にとってみてください。

<竹丘図書館 仲丸>

みなさんは小説（物語）を読むとき、どんな風に読んでいますか？「内容」は読めても、その「書かれ方」まで意識したことはないかもしれません。

この作品ではその「書かれ方」、つまり「表現の仕方」に着目して、詩や物語を一風変わった角度から読んでいきます。

「書かれ方」から作品を読むことで、著者がどんな意図で物語を書いたかに思いを馳（は）せ、様々な表現方法があることを知る…。

読書が好きな人や小説家になりたい人はもちろん、「表現」を目指す人にはぜひおすすめの一冊です。

<中央図書館 栗本>

物語もっと深読み教室

宮川 健郎／著
岩波書店



ネット初心者がつまづきやすい事例を、ある中学の3年2組の生徒を通しての10話。第7話「クリスマスに届けたくて」は切ない。美術部の美幸は同じ部の古木が好き。友人の良乃に相談すると「好きな人の携帯に曲を送って気持ちを伝えたら」と音楽の無料サイトを教えてくれる。終業式に古木を呼び告白すると、「携帯持っていない、興味もない。好きな人がいる」と帰って行く。彼の下駄箱には「先に帰ってるね。Y」と手紙が。えっ！Yって？下駄箱に手紙、何とも古風。

ネット犯罪が横行している昨今、チョットした不注意でトラブルに巻き込まれる。安全な付き合い方を知る1冊。ぜひ一読を！

<駅前図書館 伊藤>

15歳の可能性

加藤 ヒサヲ／著
ほるぷ出版



子どもはなぜ 勉強しなくちゃいけないの？

おおた としまさ／編著
日経BP社



「何で勉強しなくちゃいけないの？」って思ったことはないですか？実際、誰かに質問したことはありますか？その時の答えに納得はできましたか？

この本は、「識者」（意味：物事の正しい判断が下せると思われている人）に、この質問をしてみて、子供用と大人用の両方の答えをもらった本です。識者8人の8通りの答えを読んでみてください。

納得できる人もいれば、やっぱり納得できない人もいるかと思えます。自分なりの答えを見つける参考にしてみてください。

<中央図書館 伊藤>